

## 統合報告書 2022 目次

丸紅グループの価値観	1	環境・社会マテリアリティ	50
CEOメッセージ	2	リスクマネジメント	60
<b>丸紅の価値創造</b>	<b>8</b>	事業等のリスクへの対応	62
価値創造の歩み	10	社外取締役鼎談	64
価値創造ストーリー	12	コーポレート・ガバナンス	68
価値創造の基盤 基盤マテリアリティ	14	マネジメント一覧	80
ステークホルダーとの共創	15	<b>事業ポートフォリオと戦略</b>	<b>84</b>
ビジネスモデル	16	生活産業グループ	86
中期経営戦略の振り返り	18	素材産業グループ	96
中期経営戦略GC2024	20	エナジー・インフラソリューショングループ	102
<b>価値創造の実践</b>	<b>24</b>	社会産業・金融グループ	108
CFOメッセージ	26	CDIO	114
事業指針SPPの実践	30	<b>企業データ</b>	<b>118</b>
事業投資のプロセス	32	主要事業会社の連結損益	118
CDIOメッセージ	34	財務データ	120
丸紅グループのDX戦略	34	非財務データ	122
次世代施策 (Next Gen Initiatives) の推進強化	37	主な国別エクスポージャー	124
CAOメッセージ	38	組織図	126
GC2024グループ人材戦略 "丸紅人材エコシステムの進化"	39	会社情報	127
CSDOメッセージ	44	IR活動	128
丸紅グループのサステナビリティ	45	外部評価	128
企業価値向上に向けた取り組み	46	株式情報	129

## 情報発信

### 統合報告書 編集方針



丸紅グループの統合報告書は、幅広いステークホルダーの皆様に対し、当社に対する理解を深めていただき、広く信頼を得ることを目的として制作しています。「統合報告書2022」は、価値創造の原動力となる価値観、事業の内容・戦略などに加え、サステナビリティに関する取り組みや、これまでの当社の変化・成長についての説明を通じて、将来に向けた持続的な成長の可能性を感じていただくことを意識して編集しました。

制作にあたっては、IFRS財団の「国際統合報告フレームワーク」や

経済産業省の「価値協創ガイダンス」を参照するとともに、多数のステークホルダーの皆様からいただいたご意見を参考にしています。

当社は、「社は「正・新・和」の精神に則り、公正明朗な企業活動を通じ、経済・社会の発展、地球環境の保全に貢献する、誇りある企業グループを目指します」を経営理念としています。サステナビリティの重要性がますます高まる中、この経営理念を実践することで、経済価値と環境・社会価値の同時追求に挑戦する当社について、ご理解を深めていただく一助になれば幸いです。

### IR 投資家情報

<https://www.marubeni.com/jp/ir/>

### 会社情報

<https://www.marubeni.com/jp/company/>

### 事業紹介

<https://www.marubeni.com/jp/business/>

### サステナビリティ

<https://marubeni.disclosure.site/ja/>

財務情報

非財務情報

### 本統合報告書の報告対象期間

2021年4月1日～2022年3月31日

掲載内容は、一部報告対象期間以前・以後の情報を含みます。

### 参考にしたガイドライン

- ・ GRI (Global Reporting Initiative) 「サステナビリティ・レポートینگ・スタンダード」
- ・ ISO26000 (国際標準化機構) 「社会的責任に関する手引」
- ・ IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
- ・ 経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」



### 将来見通しに関する注意事項

本資料に掲載されている予測や将来の見通しに関する記述などは、本資料の発表日現在において入手可能な情報やそれをもとにした当社の仮定・判断に基づくものであり、将来の業績を保証するものではありません。よって、実際の業績、結果、パフォーマンスなどは、経済動向、市場価格の状況、為替の変動など、様々なリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があります。当社は、本資料の情報の利用により生じたいかなる損害に関し、一切責任を負うものではありません。また、当社は、本資料に掲載されている予測や将来の見通しに関する記述などについてアップデートして公表する義務を負うものではありません。

### 会計基準に関する注記

2013年3月期までは米国会計基準 (U.S. GAAP) ベース、2014年3月期以降は国際会計基準 (IFRS) ベースで記載しています。

また、本冊子では「親会社の所有者に帰属する当期利益」を「連結純利益／当期利益」と表記しています。

## 丸紅グループの価値観

社は「正・新・和」は、1949年の丸紅株式会社設立にあたり、初代社長・市川忍が行った訓示に由来しています。丸紅グループおよびグループ社員が依って立つ原点であるとともに、変化の激しい時代においても常に道標となる価値観です。

今日まで受け継がれているこの不変の価値観をもとに企業活動を推進することで、グループを取り巻くすべてのステークホルダーの皆様から信頼を獲得し、ともに歩みを進めていくことで、経済・社会の発展、地球環境の保全に貢献する経営理念の実現を目指します。

### 経営理念

丸紅は、社は「正・新・和」の精神に則り、公正明朗な企業活動を通じ、経済・社会の発展、地球環境の保全に貢献する、誇りある企業グループを目指します。

### 社は

「正」 公正にして明朗なること

「新」 進取積極的にして創意工夫を図ること

「和」 互いに人格を尊重し親和協力すること

正 新 和

### 在り姿

### Global crossvalue platform

商社の枠組みを超える価値創造企業グループへ

丸紅グループの在り姿「Global crossvalue platform」は、丸紅グループの存在意義を明確化し、グループ一丸となって永続的に企業価値を高めていくという意味でありコミットメントです。

社会・顧客の課題と向き合い、新たな価値を創出します。



Global crossvalue platform  
Marubeni